

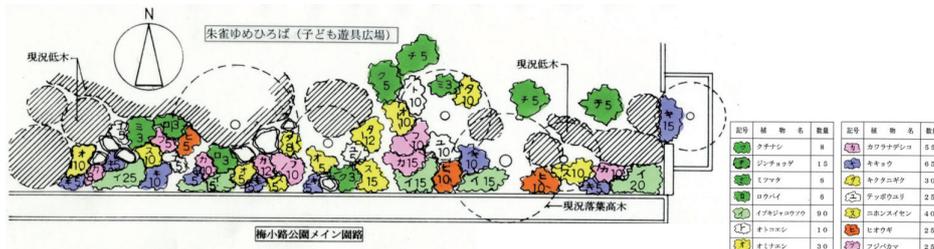
京都ゆかりの花と香りを広げる梅小路公園花壇

企画者 公益財団法人 京都市都市緑化協会

梅小路公園は、平安遷都 1200 年を記念して平成 7 (1995) 年に開園した都市公園です。平成 24 (2012) 年に京都水族館、平成 28 (2016) 年には京都鉄道博物館も開業し、たくさんのお客さまを迎えています。企画地は、約 13.7ha ある広い公園内のメイン通り沿いの一画です。来園者に「香りのする季節の花に触れ、ほっとしていただきたい」また、「京都の生活文化と切り離せない“和の花”を知っていただきたい」と考え、企画しました。

植栽計画

既存のイロハモミジなどの間に、企画した香りの樹木 4 種と草花 10 種を自然風に植栽。京都ゆかりの「和の花」が育つ環境をつくり、四季の花が楽しめる、ほっと和める計画にしました。



京都府京都市



こんな草花を使いました



フジバカマ (藤袴) キク科
源氏物語にも登場する秋の七草の一つ。一般に流通するのは別種。葉は香料となり、防虫剤、入浴剤としても使いました



ミツマタ (三枝) ジンチョウゲ科
花はさわやかな香りがします。和紙の原料となり、とくに明治以降は紙幣に使われています



ヒオウギ (檜扇) アヤメ科
祇園祭に合わせるように咲き、厄除け・魔除けとして街で飾られます。種子は漆黒で「ぬばたま」と呼ばれ「黒」「夜」などの枕詞にも



オミナエシ (女郎花) スイカズラ科
秋の七草の一つで盆花に使われます。花の香りは良くはありませんが、生薬となります



キクタニギク (菊溪菊) キク科
京都東山から流れ出る菊溪の水辺に咲いていたと伝わります。わかばに清々しい芳香があり、晩秋に明るい小さな花を次々と咲かせます

香りをきっかけに 京都の生活文化と植物とのかかわりを伝えたい



オミナエシ、フジバカマ、キキョウなどが咲く夏の花壇 (2018年8月)

私たちは京都の生活文化に密接に関係がある山野草などを「和の花」と呼び、普及に取り組んできました。受賞を機に、植栽整備とあわせて「和の花」説明パネルを設置したところ、来園者の方が香りや植物について話している姿を見かけるようになりました。今後も、生活文化（祭礼、地名、香り・薬用などの利用）と植物のかかわりを身近に感じていただけるような取り組みを続け、伝えていきたい。



京都ゆかりの花と香りを紹介するパネル

平成 29 (2017) 年度 入賞

香って食べて元気を育む七ヶ浜ファームガーデン

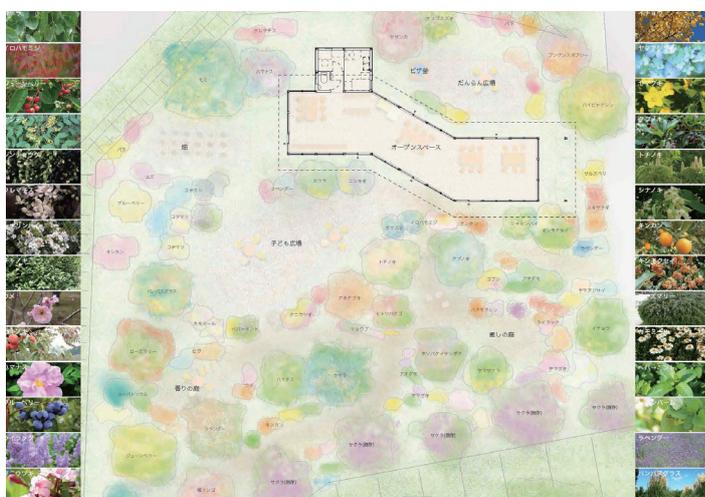
企画者 認定特定非営利活動法人 レスキューストックヤード
近藤哲雄建築設計事務所
株式会社グリーン・ワイズ

宮城県七ヶ浜町

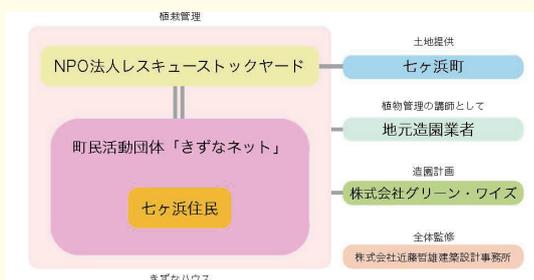
「七ヶ浜 みんなの家 きずなハウス」は、震災復興支援の一環として建てられ、被災者支援の NPO 法人レスキューストックヤードや NPO 法人 HOME-FOR-ALL をはじめとする多くの企業、ボランティア、町の方々のご協力により完成した施設です。幅広い世代の方々が利用する公共施設の敷地内にあり、子どもも大人も安らげる拠り所となっています。このきずなハウスの庭に、香って食べて元気を育むファームガーデンを企画しました。

企画のアピールポイント

優しい香りで心を癒やす草花と、生命のエネルギーあふれる樹木や野菜でコミュニティファームガーデンをつくり、復興道半ばの町民の活力回復に貢献します。また、「植物を育て、香りを楽しみ、食べる」経験の中から、子どもたちが町民とともに、生きる力を学び、喜びを分かち合う拠点としてこの場所をいかし、環境に優しく災害にも強い人づくり、町づくりを進めます。



事業体制



きずなハウスの運営団体である NPO 法人レスキューストックヤードのサポートをもとに、七ヶ浜町民が集い立ち上がった「きずなネット」を中心に地域の方々为主体となって植物を育て管理をし活用する体制を整えています

樹木・草花の見頃

樹木・草花	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
カツラ	2											
イロハモミジ	2											
シラカシ	1											
ナンタン	2											
ジンチョウゲ	2											
カシワダ	5											
シャリンバイ	5											
アヤメ	2											
カキノキ	2											
ハマナス	2											
アゲ	2											
ジュンペイ	5											
キンモクセイ	1											
モミジ	1											
アオダモ	1											
イチヨウ	1											
コナツ	1											
タブノキ	1											
トチノキ	1											
シナンキ	1											
キンカン	1											
エキヤナギ	1											
ローズマリー	5											
パセリ	5											
カズミ草	5											
ルッコラ	5											
ペパーミント	5											
スズンタマ	5											
レモンバーム	5											
トマト	5											
ピーマン	5											
ナス	5											
菜	20											
クローバー	20											
シロツクサ	20											
パパ	10											
ランタナ	10											
セージ	10											
レモンタマ	10											

「植物を育て、香りを楽しみ、食べる」を通して交流と学びを



左・右上 地域住民の方々や子どもたちとの植樹、ハーブティーづくり (2018年4月撮影)

右下 保存食づくり (2018年11月撮影)

JR 信濃町駅 アロマステーション化プロジェクト

企画者 東鉄工業株式会社

東日本旅客鉄道株式会社 信濃町駅

桐蔭横浜大学 飯島研究室 (企画時)

香りの植物を使った壁面緑化、緑化プランター、花壇などで、JR 信濃町駅を利用される方々に安らぎや季節感を感じていただきたい。リフレッシュ、リラックスしていただきたい、心と身体の健康を取り戻す健康回復の駅にしたいと考え計画しました。信濃町駅のアロマステーション化プロジェクトを実現・継続しつつ、他の駅への展開、「みどり香るまちづくり企画コンテスト」への新たな提案、香り植物維持管理のための技術開発、地域への拡大と連携など、日々挑戦し続けています。



東京都新宿区

香りのコンセプト

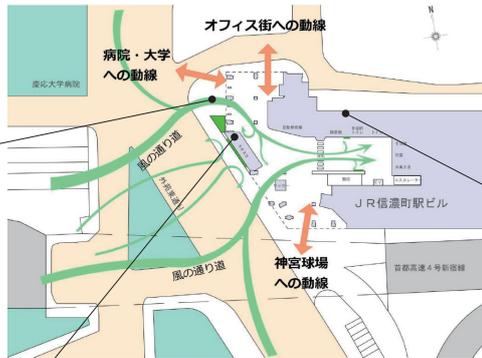
周辺地域の状況や人の流れ、信濃町駅ご利用のお客さまの特徴にあわせて、香り植物を検討。駅の立地と建物の構造から、風の流れを考慮し、植栽配置をしました。ストレス緩和、活力の創出というオールマイティで日常的な香りとして、清潔感と爽快感をもたらすシトラス系をベースにしたハーブを使用。季節の香りの演出を各種樹木やツル植物で行っています。

香りの花壇

花の香りの癒やしの花壇。春の訪れを知らせてくれるジンチョウゲ、秋の清々しい空気の中香り立つギンモクセイなど、人々をリラックスさせる花々の香り



ジンチョウゲ ギンモクセイ



香りのプランター (緑化プランター)
ホームから改札へ向かう時に感じる香りのプランター。季節ごとに入れ替えを行い、季節の花の香りが気持ちをリフレッシュさせる。視覚でも嗅覚でも楽しんでいただく



バラ



香りの壁面緑化 (トスラシステム)

ハーブ類による恒常的な香りを狙う緑化。ここではシトラス系 (レモン) の香りを中心に演出。また蚊刺され予防のためカレンソウを季節的な交換を前提に導入



レモンバーム テイカズラ



植物名	本数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備考
カンランク	49	花												シトラス系に合わせた品種選定
ギンモクセイ	1		花											花はプランターに植栽し、改札口付近に配置
コバノランタナ	10			花										花も葉も香る
ジンチョウゲ	22				花									春先に強い香りを出す
テイカカズラ	16				花									香りを演出し、改札口付近に配置
ハハコモジャシモン	190													防蚊効果は高い
バラ	80				花									改札口付近に配置し、改札口付近に配置
ランタナ	112				花									改札口付近に配置し、改札口付近に配置
ローズマリー	49				花									改札口付近に配置し、改札口付近に配置
レモンタイム	169				花									改札口付近に配置し、改札口付近に配置
レモンバーム	91				花									改札口付近に配置し、改札口付近に配置
レモンシトラス	47				花									改札口付近に配置し、改札口付近に配置

配置図、香りのコンセプト、植物の写真、香りのカレンダーは応募時企画書より。写真は 2020 年 2 月撮影のもの

アロマステーション化プロジェクトを核に香りの輪を広げています

拡げよう香りの輪プロジェクト

企画者 東鉄工業株式会社

企画の紹介

本プロジェクトは、JR 信濃町駅のアロマステーション化プロジェクトを核として、周辺地域の駅や施設に香り植物を導入し、地域の活性化と住民の健康増進を図ることを目的としています。

設置場所

1 信濃町駅 (中心駅)

2 信濃町駅 (改札口)

3 信濃町駅 (ホーム)

4 信濃町駅 (待合室)

5 信濃町駅 (エレベーター)

6 信濃町駅 (階段)

7 信濃町駅 (トイレ)

8 信濃町駅 (自転車置き場)

9 信濃町駅 (バス停)

10 信濃町駅 (タクシー乗り場)

11 信濃町駅 (歩道橋)

12 信濃町駅 (公園)

13 信濃町駅 (学校)

14 信濃町駅 (病院)

15 信濃町駅 (商業施設)

16 信濃町駅 (公共施設)

17 信濃町駅 (民間施設)

18 信濃町駅 (個人宅)

19 信濃町駅 (企業)

20 信濃町駅 (自治体)

東鉄工業株式会社は、新たな企画「拡げよう香りの輪プロジェクト」にて、平成 28 (2016) 年度審査委員特別賞を受賞。環境保全の取り組みの一環として、工事現場の仮囲いに緑化を導入。プランターは杉の間伐材を利用、草花はクレバントセージやセンテッドゼラニウムなど香りの植物を使用しました。仮囲い終了時、住民の方々へ工事への協力の感謝の気持ちとして香り植物をお譲りしました。

設置箇所については応募時企画書より